

「罪人のために死んでくださった」

2018年09月13日

ローマの信徒への手紙 5章6節～11節 実にキリストは、わたしたちがまだ弱かったころ、定められた時に、不信心な者のために死んでくださった。正しい人のために死ぬ者はほとんどいません。善い人のために命を惜しまない者ならいるかもしれませんが、わたしたちがまだ罪人であったとき、キリストがわたしたちのために死んでくださったことにより、神はわたしたちに対する愛を示されました。それで今や、わたしたちはキリストの血によって義とされたのですから、キリストによって神の怒りから救われるのは、なおさらのことです。敵であったときでさえ、御子の死によって神と和解させていただいたのであれば、和解させていただいた今は、御子の命によって救われるのはなおさらです。それだけでなく、わたしたちの主イエス・キリストによって、わたしたちは神を誇りとしています。今やこのキリストを通して和解させていただいたからです。

パウロは、神に義とされた者として神の栄光に与る希望を誇りにすると言った。そればかりではなく、苦難をも誇りにすると言った。苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生み出す。そして、希望は私たちを欺くことはない。なぜなら、「わたしたちに与えられた聖霊によって、神の愛がわたしたちの心に注がれているからです」と、神に義とされた者には神の愛が注がれていると語った。パウロにとって救いとは、願望が適えられ、苦しみや悲しみのない状態ではなく、キリストが負った十字架の苦難と死に与り、復活の命に達する希望を生きることであった。パウロは、この希望に向かって全力で走り抜いたのである。

上記の御言葉は、そのような救い、生き方が可能になる理由、根拠を述べている。「実にキリストは、わたしたちがまだ弱かったころ、定められた時に、不信心な者のために死んでくださった。」正しい人（義人）のために死ぬ者はほとんどいないが、善い人（善人）のために命を惜しまない者ならいるかもしれない。「しかし、わたしたちがまだ罪人であったとき、キリストがわたしたちのために死んでくださったことにより、神はわたしたちに対する愛を示されました。」不信心な者・罪人のためにキリストは死んでくださったことにより、神は人間に対する愛を示された。価値ある者のために愛を示すことはあるであろうが、キリストは敵対する反価値的な者のために十字架で死んで愛を表された。十字架の血によって罪が赦され義とされ、神の怒りから救われた。「敵であったときでさえ、御子の死によって神と和解させていただいたのであれば、和解させていただいた今は、御子の命によって救われるのはなおさらです。」義なる神は罪人を赦すことはできず、怒りの下に置かれる。義と罪は結び合うことはできないからである。イエス・キリストの十字架の血によって、神は敵であった罪人の罪を赦し、罪なき者（義なる者）としてくださり、神との和解の救いを実現してくださった。和解とは、罪が赦され義とされて、神と共にある（インマヌエル）が実現したということである。聖書は、敵対する罪人を赦して、義・是認宣告をしてくださった愛を「聖愛・アガペー」と言う。

パウロは、キリストの聖愛が聖霊によって注がれているから、困難の中を希望に生きることができると説く。キリストを通して神と和解させていただいているから、主イエス・キリストによって、神を誇りにしていると言う。神の栄光に与る栄光を誇る。そればかりではなく、苦難をも誇る。なぜなら、聖愛をくださった和解の神を誇るからである。